

2023年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881
 四半期報告書提出予定日 2022年11月22日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期中間期	47,897	9.3	4,154	25.6	1,493	29.4
2022年3月期中間期	43,806	7.8	3,307	51.4	1,154	49.3

(注) 包括利益 2023年3月期中間期 Δ2,961百万円 (ー%) 2022年3月期中間期 1,495百万円 (Δ30.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期中間期	60.18	ー
2022年3月期中間期	46.52	ー

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期中間期	188,093	40,111	21.3
2022年3月期	192,109	43,073	22.4

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 39,983百万円 2022年3月期 42,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2023年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2023年3月期（予想）	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年3月期の配当予想額については未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	5.8	6,000	1.3	950	6.5	38.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2023年3月期中間期	24,820,530株	2022年3月期	24,820,530株
2023年3月期中間期	112株	2022年3月期	112株
2023年3月期中間期	24,820,418株	2022年3月期中間期	24,820,424株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 当社は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期（中間期）決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

※ 当社は、2023年3月期第2四半期（中間期）連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会（Web会議）を2022年11月10日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

1. 当四半期(中間期)決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	43,806	47,897	9.3
経常利益	3,307	4,154	25.6
親会社株主に帰属する中間 純利益	1,154	1,493	29.4

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ4,090百万円増加し、47,897百万円(前年同期比9.3%増加)となりました。この増収効果により、経常利益は前年同期に比べ847百万円増加し、4,154百万円(同25.6%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ338百万円増加し、1,493百万円(同29.4%増加)となりました。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定(※)に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	対前年同期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた 経常収益	42,733	46,204	8.1

② セグメントごとの経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第2四半期連結累計期間		増減率 (%)	第2四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2022年3月期	2023年3月期		2022年3月期	2023年3月期	
損害保険事業	16,909	17,652	4.4	1,131	1,823	61.1
生命保険事業	12,548	15,192	21.1	2,259	2,658	17.7
少額短期保険事業	14,471	15,152	4.7	226	17	△92.5
報告セグメント計	43,929	47,996	9.3	3,617	4,499	24.4
セグメント間消去又は調整	△122	△99	—	△310	△344	—
中間連結損益計算書 計上額	43,806	47,897	9.3	3,307	4,154	25.6

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

SBIグループの重点施策である「オープン・アライアンス戦略」に沿って、多様な分野の事業法人や地域金融機関との連携に基づいたサービスの提供を開始するなど、新たな顧客基盤の開拓に取り組みました。また、新生銀行グループの株式会社アプラスと新たに損害保険代理店委託契約を締結するなど、SBIグループと新生銀行グループとのシナジー創出に向けた取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2022年9月末の保有契約件数は1,175千件(前年度末比0.2%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比4.4%増加の17,652百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により、前年同期比61.1%増加の1,823百万円となりました。

(生命保険事業)

団体信用生命保険(住宅ローン等のご利用者様向けの団体保険)は、住信SBIネット銀行株式会社等の既提携先に加え、新たに複数の金融機関等での取扱いが開始されたことで販売が好調に推移しました。また、個人保険分野では、主力商品である「就業不能保険」が総合保険Webサイトのランキングで第1位を獲得するなど、高い評価を獲得しました。こうした取り組みの結果、2022年9月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は351千件(前年度末比11.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が順調に増加したことなどにより、前年同期比21.1%増加の15,192百万円となりました。セグメント利益は、個人保険における保険金及び給付金の支払いが増加したものの、団体信用生命保険における保険料の増収が寄与し、前年同期比17.7%増加の2,658百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社では、賃貸申込手続きで利用される不動産プラットフォームシステムと保険契約管理システムとの接続先の拡大を推進するなど、「不動産DX」を軸とした顧客基盤開拓に引き続き取り組みました。また、SBIいきいき少額短期保険株式会社では、少額短期保険業界初となる「生前整理・遺品整理等の費用優待サービス」を保険加入者向けに提供開始するなど、新しい付帯サービスの開発に取り組みました。こうした取り組みの結果、2022年9月末の保有契約件数は991千件(前年度末比1.6%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比4.7%増加の15,152百万円となりました。セグメント利益は、保険金支払いの増加などにより、前年同期比92.5%減少の17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、188,093百万円(前年度末比4,015百万円減少)となりました。主な勘定残高は、有価証券131,057百万円(同3,828百万円増加)、現金及び預貯金26,900百万円(同4,547百万円減少)であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、147,982百万円(同1,053百万円減少)となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金133,532百万円(同444百万円減少)であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が1,493百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が4,460百万円減少したことなどにより、40,111百万円(同2,961百万円減少)となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7,645百万円減少し、25,599百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払金や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により、1,991百万円の収入超過(前年同期は3,437百万円の収入超過)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の取得による支出が有価証券の売却及び償還による収入を上回ったことにより、9,852百万円の支出超過(前年同期は2,453百万円の支出超過)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした(前年同期は0百万円の支出超過)。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は概ね当初予想どおりに推移しており、2022年3月期決算短信(2022年5月12日公表)に記載いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	31,447	26,900
買入金銭債権	4,813	1,310
金銭の信託	147	88
有価証券	127,228	131,057
貸付金	157	165
有形固定資産	705	804
建物	312	423
リース資産	2	2
その他の有形固定資産	390	379
無形固定資産	8,216	8,379
ソフトウェア	4,272	4,429
のれん	3,186	3,232
その他の無形固定資産	757	716
代理店貸	119	74
再保険貸	5,216	5,609
その他資産	12,888	12,657
繰延税金資産	468	347
支払承諾見返	700	700
貸倒引当金	△1	△1
資産の部合計	192,109	188,093
負債の部		
保険契約準備金	133,976	133,532
支払備金	19,929	20,720
責任準備金	110,781	109,788
契約者配当準備金	3,265	3,023
代理店借	423	266
再保険借	4,946	5,348
その他負債	7,874	6,974
退職給付に係る負債	28	27
価格変動準備金	851	915
繰延税金負債	234	218
支払承諾	700	700
負債の部合計	149,036	147,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	3,558	5,051
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,994	45,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	△5,503
その他の包括利益累計額合計	△1,043	△5,503
新株予約権	21	21
非支配株主持分	101	106
純資産の部合計	43,073	40,111
負債及び純資産の部合計	192,109	188,093

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	43,806	47,897
損害保険事業	16,842	17,586
保険引受収益	16,461	16,947
正味収入保険料	16,454	16,797
積立保険料等運用益	7	9
責任準備金戻入額	—	141
資産運用収益	367	629
利息及び配当金収入	125	130
売買目的有価証券運用益	222	36
有価証券売却益	—	7
その他運用収益	26	464
積立保険料等運用益振替	△7	△9
その他経常収益	13	8
生命保険事業	12,539	15,184
保険料等収入	9,006	11,486
保険料	7,025	8,746
再保険収入	1,980	2,739
資産運用収益	3,297	2,550
利息及び配当金等収入	1,197	1,373
有価証券売却益	948	891
有価証券償還益	35	1
為替差益	7	280
貸倒引当金戻入額	1	—
その他運用収益	32	4
特別勘定資産運用益	1,073	—
その他経常収益	236	1,147
少額短期保険事業	14,424	15,126
保険料等収入	14,101	14,992
資産運用収益	0	0
その他経常収益	323	134
経常費用	40,499	43,742
損害保険事業	15,730	15,797
保険引受費用	11,361	10,535
正味支払保険金	8,974	9,600
損害調査費	2,161	2,063
諸手数料及び集金費	△1,584	△1,938
支払備金繰入額	1,410	809
責任準備金繰入額	400	—
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	94	533
金銭の信託運用損	10	459
有価証券売却損	79	61
その他運用費用	4	12
営業費及び一般管理費	4,259	4,725
その他経常費用	15	2

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
生命保険事業	10,278	12,521
保険金等支払金	7,297	8,109
保険金	1,669	2,026
年金	451	291
給付金	556	739
解約返戻金	1,672	1,134
その他返戻金	659	719
再保険料	2,287	3,198
責任準備金等繰入額	253	—
責任準備金繰入額	253	—
資産運用費用	391	1,791
支払利息	0	0
有価証券売却損	—	55
有価証券評価損	291	—
有価証券償還損	—	4
金融派生商品費用	7	320
貸倒引当金繰入額	—	0
その他運用費用	92	212
特別勘定資産運用損	—	1,196
事業費	2,161	2,323
その他経常費用	175	296
少額短期保険事業	14,180	15,080
保険金等支払金	8,858	9,562
責任準備金等繰入額	179	272
事業費	5,126	5,218
その他経常費用	15	27
その他	310	344
経常利益	3,307	4,154
特別損失	143	64
固定資産等処分損	87	0
価格変動準備金繰入額	55	64
契約者配当準備金繰入額	1,419	2,031
税金等調整前中間純利益	1,743	2,059
法人税及び住民税等	684	439
法人税等調整額	△100	115
法人税等合計	584	555
中間純利益	1,159	1,503
非支配株主に帰属する中間純利益	4	10
親会社株主に帰属する中間純利益	1,154	1,493

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益	1,159	1,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	335	△4,465
その他の包括利益合計	335	△4,465
中間包括利益	1,495	△2,961
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,488	△2,966
非支配株主に係る中間包括利益	6	4

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	2,666	△0	43,102
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			1,154		1,154
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	1,154	△0	1,154
当中間期末残高	8,375	32,061	3,821	△0	44,257

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	572	572	21	99	43,796
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					1,154
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	334	334	—	6	340
当中間期変動額合計	334	334	—	6	1,495
当中間期末残高	906	906	21	106	45,291

当中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	3,558	△0	43,994
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			1,493		1,493
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	1,493	—	1,493
当中間期末残高	8,375	32,061	5,051	△0	45,487

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,043	△1,043	21	101	43,073
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					1,493
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△4,460	△4,460	—	4	△4,455
当中間期変動額合計	△4,460	△4,460	—	4	△2,961
当中間期末残高	△5,503	△5,503	21	106	40,111

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,743	2,059
減価償却費	774	855
のれん償却額	101	113
支払備金の増減額(△は減少)	1,269	791
責任準備金の増減額(△は減少)	612	△993
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	1,419	2,031
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	△1
価格変動準備金の増減額(△は減少)	55	64
利息及び配当金等収入	△1,323	△1,504
金銭の信託関係損益(△は益)	10	459
有価証券関係損益(△は益)	△836	△785
金融派生商品損益(△は益)	7	320
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△15	△717
固定資産処分損益(△は益)	0	0
特別勘定資産運用損益(△は益)	△1,073	1,196
代理店貸の増減額(△は増加)	53	44
再保険貸の増減額(△は増加)	50	△393
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	1,894	416
代理店借の増減額(△は減少)	△201	△157
再保険借の増減額(△は減少)	72	402
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△878	△845
その他	121	129
小計	3,858	3,487
利息及び配当金の受取額	1,768	1,562
利息の支払額	△0	△0
契約者配当金の支払額	△1,518	△2,273
法人税等の支払額	△669	△784
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,437	1,991

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	△9	6
買入金銭債権の取得による支出	△1,000	—
買入金銭債権の売却・償還による収入	—	499
金銭の信託の増加による支出	—	△400
有価証券の取得による支出	△13,351	△17,287
有価証券の売却・償還による収入	13,197	8,582
貸付けによる支出	△11	△14
貸付金の回収による収入	11	8
資産運用活動計	△1,164	△8,604
営業活動及び資産運用活動計		
有形固定資産の取得による支出	△54	△174
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△1,074	△914
子会社株式の取得による支出	△160	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,453	△9,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	993	△7,645
現金及び現金同等物の期首残高	34,352	33,245
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,346	25,599

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険会社5社の持株会社であるSBI少額短期保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

- (1) 「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。
- (2) 「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。
- (3) 「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少額短期保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、SBIリスタ少額短期保険株式会社、SBIプリズム少額短期保険株式会社及び常口セーフティ少額短期保険株式会社の6社で構成されております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	16,842	12,539	14,424	43,806	—	43,806
セグメント間の内部経常収益又は振替高	67	9	46	122	△122	—
計	16,909	12,548	14,471	43,929	△122	43,806
セグメント利益(注) 3	1,131	2,259	226	3,617	△310	3,307
セグメント資産	54,794	124,153	13,804	192,752	△2,029	190,723
その他の項目						
減価償却費	530	150	88	769	4	774
のれんの償却額	—	—	101	101	—	101
利息及び配当金等収入	159	1,201	0	1,361	△37	1,323
支払利息	1	0	36	38	△37	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	370	323	208	902	3	906

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△310百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,029百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,211百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,182百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	17,586	15,184	15,126	47,897	—	47,897
セグメント間の内部経常収益又は振替高	65	7	25	99	△99	—
計	17,652	15,192	15,152	47,996	△99	47,897
セグメント利益 (注) 3	1,823	2,658	17	4,499	△344	4,154
セグメント資産	57,045	118,906	14,191	190,143	△2,050	188,093
その他の項目						
減価償却費	520	260	68	850	4	855
のれんの償却額	—	—	113	113	—	113
利息及び配当金等収入	164	1,376	0	1,541	△37	1,504
支払利息	—	0	37	37	△37	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	667	376	186	1,230	—	1,230

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△344百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,050百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,224百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,174百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「減価償却費」は当社で計上したものであり、その他はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。